



マイグレーションサービスデータシート

サービス概要

企業が新しいITアプリケーション、進化するパフォーマンス、信頼性に対する要件などを通してネットワークの成長を経験する中、移行は避けられません。反対に、特定のIT要件やアプリケーションを切り離すことで、ネットワークの数が減少する可能性もあります。マイグレーションする際には、重要なアプリケーションとデータを迅速かつ確実に、中断を最小限に抑えるが、まったく中断のない方法で移行する必要があります。[マイグレーションサービス](#)では、ネットワーク移行の評価、計画、実行を体系化した3段階アプローチにより、リスクや課題の解消をサポートします。本サービスはベストプラクティスと自動化ツールを使用することで、時間とコスト、リスクを大幅に削減した移行を実現します。

サービス概要

企業はお客様の希望、競合他社、技術の進歩に対応するため、新製品やサービスを迅速かつコスト効率よく展開する必要があります。新製品や新しいネットワーク技術へ移行する際には、パフォーマンス、効率性そしてセキュリティを向上させるチャンスがあります。同時に、リスク、サービスを混乱させる可能性、コストの超過が生じる恐れもあります。

技術の検証、大規模な変更、お客様のライブトラフィックの処理などは、導入と運用の複雑さに伴う典型的な一例に過ぎません。マイグレーションサービスでは、ネットワーク移行の評価、計画、実行を体系化した3段階アプローチにより、リスクや課題の解消をサポートします。本サービスでは、ベストプラクティスと自動化ツールを活用して、[ジュニパープロフェッショナルサービス](#)ジュニパープロフェッショナルサービスの豊富な検証と変更への対応力にてレバレッジすることにより、新しいネットワーク技術に確実に移行することができます。

[Juniper Networks®マイグレーションサービス](#)は、ジュニパーグローバルサービスコンティニウム (Juniper Global Services Continuum) の移行フェーズにおいて中核となる部分です。コンティニウム (Continuum) は、サービスにおいて、進化し続けるライフサイクルスイートであり、お客様の技術導入ライフサイクル全体にわたってアシユアランスを提供し、お客様のネットワークライフサイクルを計画、構築、移行、管理、最適化の5つの段階で表します。移行フェーズは、[ジュニパーのソリューション](#)を新たに導入する企業にとって重要な価値があり、リスクを軽減し、技術的、物的および人的な課題を克服するために役立ちます。

移行サービスは、従来のジュニパー製品から同等の次世代[ジュニパー製品](#)マイグレーションサービスは、従来のジュニパー製品から同等の次世代ジュニパー製品への移行や、他のネットワークベンダーが提供する製品および技術から、同等のジュニパー製品および技術への移行を容易にします。マイグレーションサービスでは、主要なソリューションやソフトウェア製品の紹介から、より幅広いユースケース、要件、エンドツーエンドソリューションに対応するためのフル導入やカスタムサービスなど、幅広く対応しています。

このサービスを利用することで、企業は、ジュニパーの製品および技術だけでなく、他のベンダーが提供する同等の製品や技術の導入にも精通した幅広い知識を有するマイグレーションチームにアクセスできます。本サービスでは、実績のある移行手法と自動化プロセスを使用して開発された移行方法と変換ツールを採用しており、エラーを排除することで、次世代のジュニパー製品や技術への移行を効率的に、高い信頼性を持って行うことができます。このサービスの一環として、お客様はジュニパーネットワークスのプロフェッショナルサービスチームが有する専門知識にアクセスし、ジュニパー製品や技術の検討、計画、移行に役立てることができます。



図1：ジュニパーグローバルサービスコンティニューム

マイグレーション方法

マイグレーションサービスメソッドでは、3段階のアプローチ（評価、計画、実行）に準拠しており、お客様の移行プロジェクトにおけるプロジェクトの管理とリスク軽減の両面に対応するジュニパープロジェクト管理メソッドと緊密に統合されています。複雑な移行において重要となる成功要因は、技術、人材、スケジュール、または物流に関連するリスクを管理し、あらゆるシナリオを想定した緩和策を講じる能力です。ジュニパープロジェクトマネージャーは、プロジェクトの様々な側面に細心の注意を払うことで、速やかかつ確実にプロジェクトを成功へと導きます。この方法では、標準的な段階と各段階でのアクティビティの種類が特定されますが、エンゲージメントに含まれる具体的なアクティビティは、お客様ごとに定義されます。同様に、移行ツールとリソース要件も、それぞれのお客様の状況に対して特定されます。

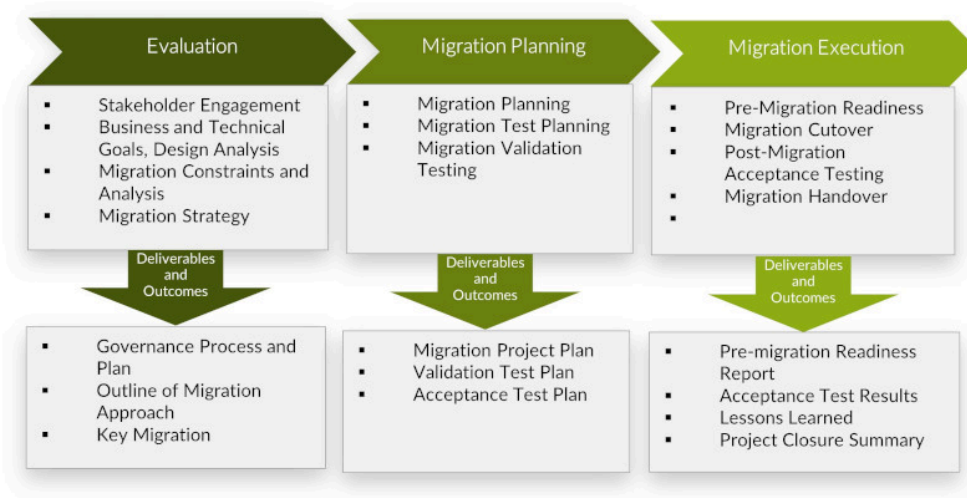


図2：マイグレーションサービスのメソッド

仕様

表 1. サービス仕様

提供サービス	説明	特長とメリット
ステークホルダーのエンゲージメント	ガバナンスモデル、コミュニケーションプラン、役割と責任、引継ぎプロセスのお客様との合意、リソースのスキルインベントリ、承認、エスケーシングプロセスを含めたマイグレーションプロジェクトのガバナンスに対する最終決定をおこないます。	総合的なガバナンスプロセスと計画により、エンドツーエンドの評価、計画、実行方法に対する信頼性を確立しています。また、エンゲージメントにより、実績のあるプロセス、人材、技術に確実にアクセスできるようになります。
ビジネスおよび技術目標、設計分析	ビジネス要件と技術要件、既存のネットワークとシステム、ターゲットとなるネットワークとシステム、統合する際の考慮事項を収集し、設計とコンポーネントを確認し、全体の実行計画に整合性を持たせます。	ビジネスおよび技術要件を明確に特定し、ジュニパーコンサルタントからお客様に提供します。リスクの軽減と潜在的な問題の早期警告が定義されます。
マイグレーションにおける制約の分析	ラボの可用性、アプリケーション、サービスインベントリ、セキュリティ要件のレビュー、メンテナンス時間枠に対する要件、現場要員の可用性など、運用上の考慮事項を最終決定します。機能差分、サードパーティへの依存、運用上、容量上および性能上の要件など、ネットワークやシステムに関する検討事項を最終決定します。	お客様は、概要設計 (High-Level-Design) 文書または概要移行戦略/計画から、重要な移行検討事項と全体的な移行アプローチについて明確に理解できます。
マイグレーションストラテジー	ラボ、パイロットまたはフィールドへの移行に対するエンドツーエンド移行テストの範囲について合意を得て、依存関係、リソース、インプットを確認します。このインプットに基づいて、移行戦略とリスクレポートを作成します。	詳細な設計、移行後のネットワークの状態、そして移行先のネットワークでジュニパー製品に適用する設定テンプレートの概要をまとめた詳細設計 (Low-Level Design) 文書がお客様に提供されます。
マイグレーションの計画	ロールバック手順、影響度合、リスクの説明、移行ツールの可用性とカスタマイズを含めたサービスやネットワークの移行に関する詳細な手順を作成します。計画には、メンテナンス時間枠、移行時の運用への影響、引き渡し、トレーニングなど、詳細なアクティビティスケジュールが含まれます。	ネットワークマイグレーションプランでは、レガシーハードウェアから新しいジュニパーハードウェアへと移行するための、平易で失敗のない方法をコンサルタントが提案します。
テスト計画	移行後と実稼働での成功基準を定義し、必要に応じて実地トライアルサイトを選択します。	ジュニパーが、ネットワークでの使用に合意のあるすべての機能をカバーするネットワーク受入テスト計画 (Network Acceptance Test Plan (以下 NATP)) を作成し、提供します。
マイグレーションの検証テスト	ラボの構築、計画したテストの実行、IOT テストなどの移行検証テストの実施、NMS やシステム統合の検証が含まれ、その後、合意した受け入れ基準に対するテスト結果のレビューと適切な問題解決が行われます。	ジュニパーは、ネットワーク移行計画とテスト計画に基づいて設計検証テスト (Design Verification Test) 計画を作成し、定義された合格/不合格の基準を満たすテスト計画を実行します。
マイグレーションの事前準備	パイロットサイトと (または) デバイスで移行前の確認 (構成と機能、運用状態) を実施し、お客様に準備状況を報告します。	ジュニパーが、移行カットオーバーへの準備を確実にします。
マイグレーションプロジェクトの商用カットオーバー	パイロットサイトと (または) デバイスで移行計画とカットオーバーを実行します	ジュニパーがお客様を支援し、ネットワーク移行計画を実行したスムーズな移行を確保します。移行後に問題が発生した場合は、ジュニパーコンサルタントが、問題の解決と終了に向けてサポートします。
マイグレーション後の受入確認	移行後の受入のプランを実行し、結果を文書化します。特定された問題のトラブルシューティングをおこないます。マイグレーション後のモニタリングサポートを提供します。未解決の問題があれば、ジュニパー技術支援センター (Juniper Technical Assisstant Center (JTAC)) に引き渡されます。運用部門への引き渡しまで運用されます。	ジュニパーがお客様およびエンドユーザーと共に、NATP 文書に定義されているジュニパー製品に対するテストを実行します。お客様は、移行後の運用方法に関するガイドラインを提供するネットワーク運用ドキュメント (Network Operation Document) を受け取ります。
マイグレーションの引き渡し	運用部門に引き渡します。お客様にナレッジトランスファーを提供します。お客様と学んだ教訓について確認し、移行計画を (必要に応じて) 見直し、プロジェクト終了の要約を提供します。	ナレッジトランスファーのためのワークショップ (Knowledge Transfer Workshop (以下 KTW)) では、ジュニパー製品に関する詳細な情報を、ネットワークでの活用方法と共に提供します。KTW によりインフラの可用性と従業員のパフォーマンスが高まり、運用効率が向上します。

すべてのステップを可能にする自動化

自動化ツールにより、複雑な移行アクティビティが簡素化され、効率が向上し、標準化が強化され、ヒューマンエラーが軽減されます。これにより、プロジェクト全体のタイムラインが改善し、運用コストも削減されます。ジュニパーが、自動化ツールを開発し、移行アクティビティのさまざまな段階に適用するために必要となる機能を提供します。標準化されたテンプレートに基づいて、レガシーデバイスから最新のジュニパー製ハードウェアへの構成変換を自動化することで、手作業による設定にかかる時間を短縮できます。移行前後のチェックを自動化することで、移行作業のストレスを軽減し、お客様は CLI コマンドで確認する手作業に時間をかけることなく、サービス全体の稼働確認により集中できます。さらに、自動化されたプロセスの信頼性を得ながら、より多くの移行アクティビティを実行できるため、移行期間も短縮できます。

ジュニパーが、適切な自動化ツールとその機能をお客様に提供し、個別の移行課題に対して、移行作業に適用します。これによ

り、お客様は実現可能かつ最適な方法で、最高の結果を得ることができます。

その他のジュニパープロフェッショナルサービスオプション

ジュニパープロフェッショナルサービスでは、レガシー製品および技術から最先端の高機能を備えたジュニパー製品および技術へと移行する多くのお客様をサポートしてきました。ジュニパーが提供する専門知識には以下が含まれます。

- レガシーコア、エッジ、およびメトロネットワークプラットフォームから最新のプラットフォームとアーキテクチャへの移行
- [Apstra 自動データセンター移行サービス](#)など、実稼働データセンターから次世代データセンターへの移行

- 新しいアプリケーションにはレイヤー 3 の仮想化を提供し、より旧式のアプリケーションにはレイヤー 2 への接続を提供する EVPN-VXLAN ファブリックまたはオーバーレイへの移行：
 - [Juniper QFabric から EVPN-VXLAN IP ファブリックへの移行](#)
 - [Junos Fusion から EVPN-VXLAN IP ファブリックへの移行](#)
 - [Cisco Catalyst Cat-OS および Nexus NX-OS から EVPN-VXLAN IP ファブリックに移行](#)
 - [バーチャルシャーシファブリックから EVPN-VXLAN IP ファブリックに移行](#)
- ジュニパーのレガシーセキュリティ製品からジュニパーの次世代セキュリティ製品への移行：[NetScreen シリーズから SRX シリーズへの移行サービス](#)
- その他のファイアウォールベンダーからジュニパーの次世代セキュリティ製品への移行：[SRX ファイアウォール移行サービス](#)

フェッショナルサービスのコンサルタントが提供する追加サービスをご希望の場合は、ジュニパーアカウントマネージャーにお問い合わせください。

ジュニパーネットワークスについて

ジュニパーネットワークスは、ネットワーク運用を劇的に簡素化し、エンドユーザーに最高のエクスペリエンスを提供することに注力しています。業界をリードするインサイト、[自動化](#)、[セキュリティ](#)、[AI](#) を提供する当社のソリューションは、ビジネスで真の成果をもたらします。つながりを強めることにより、人々の絆がより深まり、幸福、持続可能性、平等という世界最大の課題を解決できるとジュニパーは確信しています。

さらに、移行作業では、移行メソッドやジュニパーの評価、設計および導入メソッドが頻繁に使用されます。作業ごと、またお客様ごとに、メソッドの組み合わせは異なります。

ジュニパーのサービスとサポート

ジュニパーは、ネットワークを最適化することで、必要なパフォーマンスレベルや信頼性、可用性を維持し、オペレーショナルエクセレンスを実現します。詳細については、<https://www.juniper.net/jp/ja/services/> をご覧ください。

注文情報

マイグレーションサービスのご注文や詳細については、ジュニパーのアカウントマネージャーまでお問い合わせください。

除外対象

本サービスでは移行サービスのみを対象としており、別売の評価、設計、導入、サービスなどは含まれません。ジュニパープロ

Corporate and Sales Headquarters

Juniper Networks, Inc.
1133 Innovation Way
Sunnyvale, CA 94089 USA

電話番号：888.JUNIPER (888.586.4737)

または +1.408.745.2000

www.juniper.net

APAC and EMEA Headquarters

日本, 東京本社
ジュニパーネットワークス株式会社
〒163-1445 東京都新宿区西新宿 3-20-2

東京オペラシティタワー 45 階

電話番号：03-5333-7400

FAX：03-5333-7401

www.juniper.net/jp/ja/

